

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和06年度 対象年月： 令和 7年 3月
 会計： 一般会計
 局： 県土整備局
 所属： 県土整備局道路管理課・道路整備課（直通 045-210-6355・6431）
 公会計事業： 道路費

1 主な事業内容

- 各種道路施設の点検や維持修繕、耐震対策など、適正な維持管理を行う。
- 通学路の安全対策や歩道の整備、交差点の改良等を行う。
- 道路の新設、現道の拡張及び線形改良を行う。
- 鉄道と道路の平面交差による道路交通障害箇所の立体交差化を図る。
- 都市計画道路の新設・改良を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R04決算	R05決算	R06決算	R04-R05増減率	R05-R06増減率
経常費用	39,159,680	40,535,606	43,017,372	3.5%	6.1%
人件費	2,571,476	2,553,402	2,613,162	△0.7%	2.3%
物件費等 ※	34,313,610	36,024,065	38,738,043	5.0%	7.5%
物件費	5,645,720	5,505,253	7,915,500	△2.5%	43.8%
維持補修費	8,047,780	10,595,616	12,395,563	31.7%	17.0%
減価償却費	20,616,865	19,839,747	18,361,768	△3.8%	△7.4%
移転費用 ※	365,794	340,768	360,494	△6.8%	5.8%
補助金等	212,412	220,881	279,558	4.0%	26.6%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	1,033,458	1,047,808	1,059,763	1.4%	1.1%
使用料・手数料	847,103	851,528	879,963	0.5%	3.3%
その他	186,355	196,280	179,800	5.3%	△8.4%
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 38,126,222	△ 39,487,798	△ 41,957,610	△3.6%	△6.3%
臨時損失	2,834,864	33,888	5,662	△98.8%	△83.3%
臨時利益	180,218	-	2,753	皆減	皆増
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 40,780,868	△ 39,521,686	△ 41,960,518	3.1%	△6.2%
財源	4,913,136	5,822,318	5,770,357	18.5%	△0.9%
税収等	98,829	118,728	69,751	20.1%	△41.3%
国等補助金	4,814,307	5,703,590	5,700,606	18.5%	△0.1%
本年度差額	△ 35,867,733	△ 33,699,368	△ 36,190,161	6.0%	△7.4%
一般財源充当調整額	57,156,009	51,095,056	58,346,278	△10.6%	14.2%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R05決算	R06決算	増減率	科目	R05決算	R06決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	607,615,070	601,132,519	△1.1%	固定負債	254,898,777	226,004,374	△11.3%
有形固定資産	607,488,783	600,993,622	△1.1%	県債	253,642,298	224,734,233	△11.4%
事業用資産	681,096	710,683	4.3%	長期未払金	-	-	-
土地	644,608	675,949	4.9%	退職手当引当金	1,256,480	1,270,141	1.1%
建物	55,537	55,537	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 19,049	△ 20,881	9.6%	その他固定負債	-	-	-
工作物	-	-	-	流動負債	19,545,120	19,799,426	1.3%
工作物減価償却累計額	-	-	-	県債	19,369,270	19,630,222	1.3%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	79	皆増	賞与等引当金	175,850	169,204	△3.8%
インフラ資産	606,710,776	600,187,220	△1.1%	預り金	-	-	-
土地	196,527,134	198,919,785	1.2%	その他流動負債	-	-	-
建物	15,633,690	16,152,370	3.3%				
建物減価償却累計額	△ 9,351,363	△ 9,772,769	4.5%	負債合計	274,443,897	245,803,801	△10.4%
工作物	1,287,590,515	1,291,524,368	0.3%	純資産合計	333,174,693	355,329,994	6.6%
工作物減価償却累計額	△ 953,780,802	△ 971,706,581	1.9%				
その他	-	-	-	負債及び純資産合計	607,618,590	601,133,794	△1.1%
建設仮勘定	70,091,602	75,070,047	7.1%				
物品	96,911	95,719	△1.2%				
無形固定資産	118,190	127,991	8.3%				
投資その他の資産	8,097	10,906	34.7%				
流動資産	3,520	1,275	△63.8%				
資産合計	607,618,590	601,133,794	△1.1%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R05-R06の比較)は、維持補修費が18.0億円(17.0%)増加しています。主な要因としては、橋りょうや街路樹の維持補修にかかる費用が増となったためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R06決算の内訳は、工作物が3,198.2億円で資産の53.2%を占めています。そのほか、土地が1,996.0億円、建設仮勘定は750.7億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R06決算の内訳は、県債が2,443.6億円で99.4%、退職引当金が12.7億円で0.5%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R06決算では、資産合計6,011.3億円から負債合計2,458.0億円を差し引いた3,553.3億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は59.1%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R05-R06の比較)は、インフラ資産における建設仮勘定が49.8億円(7.1%)増加しています。要因としては、都市計画道路城山多古線ほかの整備を実施したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。